



【プレスリリース】

報道関係各位

2023年11月9日

## 懸命に生きる、一人ひとりの小さな命を守るために 新生児用人工呼吸器更新のクラウドファンディングに挑戦

拝啓 ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院(神奈川県横浜市鶴見区、以下、当院)は、11月9日(木)より、2,000万円を目標として、新生児用人工呼吸器更新のクラウドファンディングを開始いたしますのでお知らせいたします。

当院は、地域周産期母子医療センターの1つとしてNICU(Neonatal Intensive Care Unit: 新生児特定集中治療室)6床を備えています。NICUでは、26週以降の小さく生まれた赤ちゃんが入院します。

26週で生まれた赤ちゃんの大きさは、だいたい900g前後と言われており、肺の構造はほぼ完成していますが、肺の機能は未熟です。そのため、口から管を入れて人工呼吸器(肺に出入りする空気の流れを補助する機械)を装着し、赤ちゃんの呼吸を助けます。当院では、年間およそ30~40件の赤ちゃんに人工呼吸器を使用し、小さな命を救っています※。



しかしながら開院から15年が経過した現在、新生児用の人工呼吸器をはじめとして、さまざまな機器が更新の時期を迎えています。

今回のクラウドファンディングを通じては、当院NICUの機器更新へのご寄付を募るとともに、当院の医療や役割を広く知っていただく機会となり、そして、共感していただける寄付者様と新たにつながる機会ともなることを目指しております。

※済生会横浜市東部病院 2023年時点の集計より

敬具

<本件についてのお問い合わせ先>  
済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:波多野・荒木  
電話:045-576-3000 Email:[koho@tobu.saiseikai.or.jp](mailto:koho@tobu.saiseikai.or.jp)

## ■ プロジェクト概要

- ・タイトル「赤ちゃんの命を支える NICU。新生児用人工呼吸器の更新へのご寄付を」
- ・ページ URL: <https://readyfor.jp/projects/tobu-saiseikai>
- ・目標金額: 2,000 万円
- ・実行者: 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院
- ・形式: 寄付金控除型 / All-in 形式  
※All-in 形式は、目標金額の達成の有無にかかわらず寄付金を受け取ることができます。
- ・公開期間: 2023 年 11 月 9 日(木)9 時～2024 年 1 月 31 日(水)23 時
- ・資金用途: 新生児用人工呼吸器2台の購入費用



## ■ 病院長メッセージ

病院長

三角隆彦(みすみたかひこ)

「横浜市東部地域（主に鶴見区、神奈川区）の急性期医療を支える中核病院として、2007 年 3 月に開院した当院は、済生会の理念の下、当地域に不足していた三次救急、小児救急、精神科救急などの機能を有しています。神奈川県周産期母子医療センター、横浜市周産期救急指定病院でもあり、NICU を 6 床、GCU（Growing Care Unit：回復治療室）を 10 床備えています。人工呼吸器は、自分で呼吸することが難しい赤ちゃんにとって酸素供給を確保するための重要な医療機器です。当地域の新生児医療を支える立場として、これから先も新たな小さな命を迎え入れ、助けられるはずの小さな命を守っていくために、皆さまのご支援をお願いいたします。」



<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当: 波多野・荒木

電話: 045-576-3000 Email: [koho@tobu.saiseikai.or.jp](mailto:koho@tobu.saiseikai.or.jp)